

## 第3期志摩市創生総合戦略の取組状況について (令和6年度実績)

### 1. 総合戦略の概要

「デジタル田園都市国家構想の実現に向けた第3期志摩市創生総合戦略（以下「第3期総合戦略」という。）」は、国の「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を踏まえ、さらなる人口減少対策に取り組むべく、第2期志摩市総合戦略の見直しを行い、令和5年度から令和7年度の3年間に講ずる具体的な施策を定めるものとして令和5年12月に策定した計画です。

第3期総合戦略では、本市の地域ビジョンの実現に向け、「いきいきと働ける、自慢できるまちをつくる」、「まちの魅力を発信し、人の流れをつくる」、「出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる」、「住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる」の4つの基本目標を掲げています。地域にあるさまざまな資源を磨き上げて活用することで、地域に人々を呼び込むとともに、若い世代の希望が叶い、安心して暮らし続けられるまちづくりをめざし、取組を進めています。

### 2. 令和6年度の取組状況（実績）

(1) 4つの基本目標における数値目標及び総合的な目標の達成状況

第3期総合戦略に記載した4つの基本目標の令和6年度の進捗状況については、それぞれの目標値に対する達成度は、「B」が1つ、「C」が2つ、「D」が1つとなっています。

基本目標	指標	基準値	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
1 いきいきと働ける、 自慢できるまちをつくる	誘致又は立地した企業数 (累計)	1件 (R4)	8件	2件	D
2 まちの魅力を発信 し、人の流れをつくる	観光入込客数	3,607千人 (R4)	4,650千人	3,959千人	B
3 出会い・結婚、妊 娠・出産、子育ての希 望を叶える	合計特殊出生率	1.19 (R3)	1.40 (R5)	1.00	C
4 住み慣れた地域で、 安心して暮らし続けら れるまちをつくる	今の場所に住み続けたいと思う 市民の割合	68.2% (R4)	77.5%	56.5%	C

また、これら4つの基本目標を通じた総合的な目標である「社会減の抑制」に係る令和6年度の実績値は、目標値に近い水準となり、達成度は「B」となっています。

	指標	基準値	目標値 (R6)	実績値 (R6)	達成度
総合的な目標	社会減の抑制 (転入数－転出数)	△365人/年 (R4)	△225人/年	△236人/年	B

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】

A：100%以上 B：80%以上100%未満 C：60%以上80%未満 D：60%未満

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

(2) 数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の達成状況

数値目標及びKPI(重要業績評価指標)の計18項目の指標のうち「A」は16.7%となっています。また「B」が一番多く、44.4%となっています。

基本目標	A	B	C	D	合計
1 いきいきと働ける、自慢できるまちをつくる	1	1	1	1	4
2 まちの魅力を発信し、人の流れをつくる	1	2	1	0	4
3 出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶える	1	2	2	0	5
4 住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる	0	3	2	0	5
合計	3 (16.7%)	8 (44.4%)	6 (33.3%)	1 (5.6%)	18 (100%)

【達成度（実績値÷目標値×100）の目安】  
A：100%以上 B：80%以上100%未満 C：60%以上80%未満 D：60%未満  
※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

3. 人口の状況

志摩市人口ビジョンにおいては、地域の現状分析や国立社会保障・人口問題研究所の人口推計を踏まえつつ、2060年に30,000人程度を確保するという人口の将来展望を示しています。

その実現に向け、自然増減の観点からは「合計特殊出生率の向上」、社会増減の観点から「社会減の抑制」の展望を掲げています。

(単位：人)

	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7
総人口	52,943	52,140	51,200	50,222	49,295	48,370	47,272	46,159	45,114	44,110

※1月1日（前年12月31日）時点人口

出典：三重県月別人口調査（住民基本台帳人口）

(1) 合計特殊出生率の向上

国全体において、毎年、過去最少の出生数を記録する状況の中、本市も前年に比べ、令和5年の出生数は減少しています。その結果、令和5年の本市の合計特殊出生率は前年より減となっています。

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
合計特殊出生率	1.36	1.46	1.46	1.40	1.48	1.19	1.19	1.16	1.00
出生数	250人	249人	237人	210人	213人	180人	165人	154人	125人

【参考】R6出生数：144人（三重県月別人口調査）※暦年

出典：三重県の人口動態・みえの健康指標

## (2) 社会減の抑制

第3期総合戦略では、令和7年に社会減を△150人／年の水準までに抑えることを目標としている中、令和6年は、転入者数は過去10年で最高となり、△236人の社会減となっています。

(単位：人)

	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6
転入者数	995	1,068	1,040	1,031	1,080	912	939	1,051	1,150	1,208
転出者数	1,456	1,308	1,414	1,391	1,361	1,209	1,316	1,416	1,372	1,444
社会増減	△461	△240	△374	△360	△281	△297	△377	△365	△222	△236

出典：三重県月別人口調査

## 4. 第3期総合戦略の振り返りと今後の取組の方向性

- 第3期総合戦略では、デジタル技術の活用を横断的な視点として掲げ、4つの基本目標に沿って、自然減対策・社会減対策を両輪とした総合的な人口減少対策の推進に取り組んできました。
- 令和6年度は「人口減少・少子化対策の本格化」を重点政策に位置付け、社会減対策の観点からは、若者が魅力を感じるしごとの創出に向け、市内企業におけるDX化促進やデジタル人材育成、奨学金代理返還支援制度の創設に取り組むとともに、UIターン・定住の促進に向け、地域特性に応じた移住者の支援体制の構築に取り組みました。自然減対策の観点からは、結婚を希望する若年層の結婚支援、子育てつなげるギフトの支給、こども医療費助成の拡充、病児保育の無料化など、ライフステージに応じた切れ目ない支援の強化を図りました。また、子どもたちの「生きる力」を育む教育の充実に向けて、学習支援の充実や居場所づくり、国際感覚を養う人材育成を進めました。
- 第3期総合戦略の策定以降、転出超過の改善傾向は見られるものの、全国的な傾向と同様に、出生数の減少が続いている状況を踏まえ、令和7年度は「少子化対策・こども政策の抜本強化」を重点政策に位置付け、若い世代が未来に明るい希望を持てるまちづくりを進めます。若い世代の出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望を叶えるため、ライフステージに応じた支援をさらに強化するとともに、未来を担う子どもたちの学びを充実させ、豊かに育つ教育環境の整備に取り組めます。あわせて、関係人口の創出も含めた若い世代の移住・定住を促進します。
- 地方創生の取組開始から10年が経過する中、国において令和7年6月に「地方創生2.0基本構想」が閣議決定されました。地方自治体においては、令和7年中に公表される国の総合戦略を勘案して地方版総合戦略を見直すことが求められていることも踏まえ、市の最上位計画である総合計画の策定と整合を図りながら、年度内に総合戦略の見直しを行います。
- 総合戦略の見直しにあたっては、その前提となる志摩市人口ビジョンの将来展望について、近年の自然減・社会減の状況や三重県人口ビジョンの内容を考慮したうえで、並行して見直しに取り組みます。

## 令和6年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

### ■基本目標1

いきいきと働ける、自慢できるまちをつくる

若い世代がいきいきと働き、地域の資源が磨き上げられ輝きを放つ、魅力あふれる自慢できるまちをつくります。

### ■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
誘致又は立地した企業数(累計)	目標値	1件	6件	8件	10件
	実績値		2件	2件	
	達成度		B※	D	

### ■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
1-①	地域の中で働く若い世代を増加させる	地元企業等との交流会等への協力企業数	目標値	21者	39者	44者	50者
			実績値		30者	29者	
			達成度		C	C	
1-②	地域の経済基盤となる産業を活性化する	市や県のブランド認定を受けた品数(累計)	目標値	30品	36品	40品	45品
			実績値		33品	34品	
			達成度		B	B	
1-②	地域の経済基盤となる産業を活性化する	創業支援者件数(累計)	目標値	30件	30件	35件	40件
			実績値		37件	47件	
			達成度		A	A	

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A:進んだ(100%以上) B:ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C:あまり進まなかった(60%以上80%未満) D:進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

## 令和6年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

### ■基本目標2

まちの魅力を発信し、人の流れをつくる

本市の持つ魅力を広く発信することにより、国内外から本市へ新しい人の流れが生まれることをめざします。

### ■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
観光入込客数	目標値	3,607千人	4,550千人	4,650千人	4,750千人
	実績値		3,883千人	3,959千人	
	達成度		B	B	

### ■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
2-①	若い世代を中心とした移住・定住を推進する	制度または相談等を通じて把握した移住者数(累計)	目標値	81人	105人	140人	175人
			実績値		137人	194人	
			達成度		A	A	
2-①	若い世代を中心とした移住・定住を推進する	企業や大学等と連携して新たに取り組んだ事業数(累計)	目標値	15件	20件	30件	40件
			実績値		19件	24件	
			達成度		B	B	
2-②	世界から選ばれる持続可能な観光地づくりを推進する	延べ宿泊者数	目標値	1,237千人	1,800千人	1,900千人	2,000千人
			実績値		1,405千人	1,423千人	
			達成度		C	C	

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A: 進んだ(100%以上) B: ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C: あまり進まなかった(60%以上80%未満) D: 進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

## 令和6年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

### ■基本目標3

出会い・結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる

若い世代の出会い・結婚、妊娠・出産や子育てに関する希望が叶えられるよう、ライフステージに応じた切れ目のない総合的な支援体制の整備や教育環境の充実を進めます。

### ■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R3)	令和5年 (R4)	令和6年 (R5)	令和7年 (R6)
合計特殊出生率	目標値	1.19	1.30	1.40	1.50
	実績値		1.16	1.00	
	達成度		B	C	

### ■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
3-①	ライフステージに応じた支援体制の充実を図る	妊婦歯科健診受診率	目標値	37.3%	30.0%	35.0%	40.0%
			実績値		39.9%	45.8%	
			達成度		A	A	
3-①	ライフステージに応じた支援体制の充実を図る	保育所・幼稚園・認定こども園の環境やサービスに満足している保護者の割合	目標値	75.0%	90.0%	90.0%	90.0%
			実績値		83.0%	86.7%	
			達成度		B	B	
3-②	子どもが夢や希望を持って成長できる教育環境を整える	自分が住んでいる地域が好きという中学生の割合	目標値	52.5%	80.0%	80.0%	80.0%
			実績値		65.6%	53.0%	
			達成度		B	C	
3-②	子どもが夢や希望を持って成長できる教育環境を整える	情報化に関心のある児童・生徒の割合	目標値	70.5%	78.0%	80.0%	80.0%
			実績値		72.0%	76.4%	
			達成度		B	B	

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A: 進んだ(100%以上) B: ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C: あまり進まなかった(60%以上80%未満) D: 進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。

## 令和6年度 志摩市創生総合戦略【基本目標評価シート】

### ■基本目標4

住み慣れた地域で、安心して暮らし続けられるまちをつくる

住み慣れた地域で、誰もがつながりあい、健康でいきいきと自分らしく、安心して暮らし続けられる持続可能なまちをめざします。

### ■数値目標の進捗状況

数値目標	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
今の場所に住み続けたいと思う市民の割合	目標値	68.2%	75.0%	77.5%	80.0%
	実績値		69.7%	56.5%	
	達成度		B	C	

### ■KPI(重要業績成果指標)の進捗状況

No.	施策の基本的方向	KPI	項目	基準値 (R4)	令和5年	令和6年	令和7年
4-①	誰もが健康でいきいきと活躍できるまちをつくる	身近に相談できる人や団体がある人の割合	目標値	80.5%	81.0%	83.0%	85.0%
			実績値		82.1%	72.0%	
			達成度		A	B	
4-①	誰もが健康でいきいきと活躍できるまちをつくる	生きがいがあると答えた高齢者の割合	目標値	74.7%	76.0%	78.0%	80.0%
			実績値		75.3%	69.9%	
			達成度		B	B	
4-②	いつまでも暮らし続けられるまちをつくる	防災訓練の参加人数	目標値	1,984人	12,000人	13,000人	14,000人
			実績値		8,838人	9,746人	
			達成度		C	C	
4-②	いつまでも暮らし続けられるまちをつくる	AI・RPA等を活用して業務改善に取り組んだ件数(累計)	目標値	240件	360件	480件	600件
			実績値		405件	417件	
			達成度		A	B	

【達成度(実績値÷目標値×100)の目安】

A:進んだ(100%以上) B:ある程度進んだ(80%以上100%未満)

C:あまり進まなかった(60%以上80%未満) D:進まなかった(60%未満)

※ただし、達成度が低いものの、基本目標の実現に向けて取組の効果が高い場合は、それらを踏まえ達成度を評価した。